

総合的な学習の時間 全体計画

子どもの実態 ・明るくのびのびしている ・好きなことに積極的に取り組む 継続的な発展的学習が苦手
教師の願い ・発見したこと、感動したこと願いを豊かに表現することになってほしい ・よりよく生きようとするようになってほしい

学校教育目標
すべての児童にとって、楽しくてたまらない学校

学ぶ態度・学ぶ力・自己の生き方の自覚
自分の課題を見つけ、解決するために計画を立てて取り組む
色々な資料・情報を集め活用し、活動の成果を分かりやすく伝える
学習したことを生活に積極的に活かそうとする

○総合的な学習の時間のねらい(学習指導要領) (1)自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題解決する資質や能力を身につける (2)学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができる (3)各教科で身につけた知識や技能を相互に関連付け、それらを学習や生活に生かし、総合的に働くことができるようにする
--

学習課題をとおして培いたい力

環境教育	身近な環境に目をむけ、そこから問題を見つけ、進んで解決していこうとする力を培う
国際理解	国際理解教育の一環としてALTと協力し、外国の文化に触れる機会を持つ。
情報教育	課題や目的に応じて情報手段を適切に活用し必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造・発信・伝達できる能力を培う
図書館活用	読書を通して環境や国際理解と連携し、資料や情報を活用する能力を培う

評価基準

観点	3.4年	5.6年
課題設定の能力	①体験したことや知っていることから思いや考えをもち、調べてみたいことを見つけることができる。 ②自分との関わりで課題をとらえ、調べることができる ③課題に対して自分なりの予想を持つことができる	①生活の中から必要感を持って自分に合った課題を見つめることができる ②見通しを持って自分なりの課題を設定することができる ③課題の解決に向けて、方法、時間、まとめ方などの見通しをもつことができる
課題解決の能力	①自分なりの予想をもち、解決の計画を立てることができる ②計画をもとに工夫して自力で解決することができる ③課題解決にあった場所や人を探し、情報を得ることができる	①課題を解決するために方法を工夫したり考えたりして粘り強く追求することができる ②計画を元に、見通しを持って工夫して自力で課題を解決することができる ③人との関わりを深めながら自分の課題を解決することができる ④伝える相手を意識して、調べた内容を効果的に表現することができる ⑤必要な情報を収集したり、友達のを取り入れたりして、より広い視野から自分お考えを持つことができるようにする
学び考え方の	①様々な調べ方があることを知り、自分にあった調べ方を見つけることができる。 ②関わりをもった相手の思いや願いを感じ取ることができる ③自然の不思議さや偉大さ、自然と自分や自分の生活とのつながりに気づくことができる ④情報機器の使い方を知り、利用することができる ⑤追求過程を振り返り、自己評価することができる	①目的に応じた調べ方や相手に応じた伝え方があることに気づき、適切に使い分けができる。 ②社会には様々な立場の人がいることに気づき、あいたの考えや立場を尊重しながら関わりをもつことができる。 ④様々な情報を関連付けて考え、自分なりに考えをもつことができる ⑤追求過程を振り返り、自己評価ができる
学習創造への主体的な態度的	①興味関心をもち、自分の調べたいことを進んで調べることができる ②周囲の人に尋ねたり、自ら現地に行き調べたりすることができる ③方法を工夫したり、何度も試したりして粘り強く取り組むことができる ④学んだことや調べたりしたことを創意工夫し、まとめたり相手に伝えたりすることができる	①様々な調べ方、まとめ方の中から適切なものを見つけ、工夫して追及することができる ②人との関わりの中で進んで取材したり、立場や考えかたの異なる人の意見に耳を傾けたりすることができる ③簡単に結論を出さずに多面的に考え、課題を広く深く追求していくことができる ④多くの情報の中から必要な情報を取捨選択し、知識や技能、既習経験を活かして問題を解決することができる。
自己生活	①学んだことを自分の生活の中で確かめたり活かしたりしようとする ②様々な人と進んで関わり、多くのことを学ぼうとする ③身近な自然や環境に目をむけ、色々なことを学ぼうとする ④身の回りの色々な課題に対して積極的に関わろうとする	①学んだことを自分の生活や地域の中で活かそうとする ②社会には自分にもできることがあることに気づき、思いやりをもって共に生きようとする ③色々な課題に対して前向きに解決しながら生活しようとする ④情報機器を自己の生活や学習に効果的に活用することができる

評価方法

○活動観察	○作品分析	○聞き取り	○意識調査	○ワークシート
・調査活動	・学習カード	・課題設定の理由	・事前・事後	・自己評価
・役割・発言	・まとめ作品	・学習計画	・変容分析	・相互評価
・準備の進め方	・ノート	・まとめ方法	・関係機関等	・外部評価

その他

○時間割編成を工夫し、学年合同の時間が組めるようにする。
○サポーターへの協力依頼を計画的に実施する
○指導計画や資料等は学年に引き継げるように保存する
○関係諸機関との連携をコーディネーターを中心に密にする